

2025-26 年度 第2650地区スローガン

「未来へつなぐ」

第2650地区〔1961.3.28創立〕

YAMATOTAKADA ROTARY CLUB

会 長	山 田 博
副 会 長	安 田 志 郎
幹 事	木 原 常 裕
会報・資料委員長	酒 本 良 司

クラブHP <http://yamatotakadarc.org/> アドレス ytrotary@abelia.ocn.ne.jp

地区HP <http://rid2650.gr.jp/> Facebook <https://www.facebook.com/yamatotakada.rc/>

例会日時：毎週火曜日 12時30分 例会場所：経済会館 3階大ホール

事務所：〒635-0095 大和高田市大中 106-2 経済会館 4階 TEL 0745-52-4366 FAX 0745-23-3823

第28回(通算3068回)2026年(令和8年)3月10日号

本日の例会(3月10日)

「ちょっとだけAI」

(株)電通クリエイティブディレクター

池田定博 様

次回の例会(3月24日)

「歌舞伎よもやま話」

中村鷹治郎 様

創業記念日祝

平岡雄一郎会員(3月 3日)高木美香会員(3月 8日)

委員会報告及びその他報告

○クラブ内規委員会 村井善治委員長

本日、定款・細則・内規改定審議案をポストイングしております。こちらは研修・規定委員会、長期ビジョン委員会、及びクラブ内規委員会で検討し、先週理事会で承認いただいたものです。細則の改定に関しては、会員の3分の2の賛成が必要です。異議のございます方は3週間以内に事務局までお申し出ください。

次に、定款・細則・内規改定審議案の内容についてご説明いたします。1点目は危機管理委員会の設置についてです。本年度中に設置し、予期せぬトラブルに対応していく予定です。構成メンバーは幹事・会長エレクト・会長ノミネー・青少年奉仕委員長・公共イメージ委員長で、場合によっては外部からの専門員にも入っていただきます。

2点目はクラブ会費の値上げについてです。現在、クラブ会費は24万円と細則に書かれており、個人負担金の2万円も徴収しております。これらを合わせて28万円に変更いたします。理由といたしましては、クラブ運営に係る経費の上昇、クラブ職員の就業規則制定や退職金の見直し、雇用保険加入などです。

3点目は、クラブ職員の待遇と今後のクラブ運営についてです。内規第2条第3節の「クラブ職員の報酬、退職」に職業規定を加えさせていただきます。退職引当金も設けます。この職業規定に関しては、本年度・前年度・次年度の会長・幹事6名に検討していただき、理事会へ報告の上、ご承認をいただく予定です。

4点目は、会長候補を決める特別委員会の設置です。

5点目は、細則第3条第1節、会長候補の指名についての変更です。年次総会は毎年12月第1例会に開催されますが、その1か月前に指名委員会を開催することになっております。近年は1か月で決めるのは難しくなっておりますので、この記載を削除し、年度当初より指名委員会を開催できるように変更いたします。

6点目は、米山奨学会についてです。次年度・次々年度は米山奨学会委員会を設置いたしますが、その後は必要なときに設けるものと変更いたします。

○社会奉仕委員会 西田陽昭委員長

2月25日～27日の桜の植樹に際しまして、当日、多くの皆様にご協力をいただき、本当にありがとうございました。ご予約いただきましたにもかかわらず、25日が雨で中止になりましたことお詫び申し上げます。今回は、しだれ桜1本と、ソメイヨシノに代わる

3月3日の例会報告
会長の時間

先週行われました香芝地区情報集会ではお世話になり、ありがとうございました。また、先週25日から27日にかけて、高田川・大中公園におきまして、社会奉仕委員会による桜の植樹が行われました。65本を一度に植えるわけではございませんが、いずれの木も将来、無事に満開になることを願っております。また、先輩方がしだれ桜を大中公園に植えておられます。2本が現在も残っておりますが、その横にも新しい桜を植樹いたしました。

今月のRI月間テーマは「水と衛生」です。日本では被災地などを除き、ほとんど水の問題はございません。しかし、世界では上水道・下水道に関する問題多く残っていることはRIの報告にあるとおりです。日本のように水道の水が飲める国は世界では15か国しかありません。RIの人頭分担金一人約1万2000円の一部がこういった状況を改善する活動に使われております。今後ともご協力をお願いいたします。

幹事報告

◎定例理事会のご報告

1. 創立65周年記念親睦会の件 承認
2. 定款等変更の件 承認
ご意見のある方は3週間以内に幹事・事務局までご連絡ください。
3. バナー改定の件 承認

松村實昭会員によるバナーデザインのご説明は掲示板に貼らせていただきます。

ゲスト

保田麻央様(RYLA参加者 村島硝子商事(株))

誕生日祝

下村敏博会員(3月 3日)樫根正起会員(3月 5日)

村島靖一郎会員(3月 9日)

結婚記念日祝

寺田俊彦会員(3月 3日)下村敏博会員(3月 4日)

牧浦 徹会員(3月 5日)

4つのテスト〔言行はこれに照らしてから〕

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

ジンダイアケボノ25本を植樹しています。植樹したところにはプレートを掲げておりますので、大中公園にお越しの際にはご覧ください。当日の様子については、奈良新聞にご掲載いただきました。中和新聞には明日掲載されるとお聞きしております。

○雑誌・IT委員会 吉岡寛人委員長
『ロータリーの友』をご案内いたします。5ページから、水を守ることをテーマにした記事がございます。12ページからはRIエレクトのインタビューとして、ゲームチェンジャーというタイトルで、ナイジェリアについての記事がございます。18ページにはユニークなボウリングの記事があります。最後のページには南海トラフ巨大地震に対する日頃の備えについて書かれています。

○親睦委員会 田中康正委員長
来週より地区大会の参加費を徴収させていただきます。例会終了後、親睦委員会を開催いたします。

○ローターアクト委員会 川中教正委員長
大和高田RAC創立30周年記念式典を5月31日午前11時からヴェルデ辻甚にて行います。ご出席の程よろしくお願ひいたします。

ニコニコ箱

- ・高田市大中公園の桜植樹にご参加いただいた会員の皆様、ありがとうございました。保田麻央様、卓話よろしくお願ひします。 山田 博会員
- ・桜の植樹ありがとうございました。RYLAの報告楽しみにしています。 安田志郎会員
- ・桜の植樹ありがとうございました。香芝地区情報集会ありがとうございました。RYLAの報告よろしくお願ひします。 木原常裕会員
- ・3月9日は92歳の誕生日です。来年のこの日まで命あり在籍できますように。 村島靖一郎会員
- ・堀川先生、前回の卓話で私の曲を取り上げていただき、ありがとうございました。誕生日祝、結婚記念日祝を頂いて。 下村敏博会員
- ・桜の植樹完了しました。ご協力ありがとうございました。 西田陽昭会員
- ・RYLA報告よろしくお願ひします。清水良彦会員
- ・社員の保田の発表、よろしくお願ひします。 村島靖基会員
- ・孫が生まれ家族が6人になりました。バンザイ！ 吉村定義会員
- ・初マラソン、足を引きずりながら完走できました。 吉田太郎会員
- ・誕生日祝を頂いて。 山田幸雄会員 樫根正起会員
- ・結婚記念日祝を頂いて。 堀川巴清会員 牧浦 徹会員

卓話 「RYLA研修報告」

村島硝子商事株式会社 保田麻央 様



昨年5月に行われましたRYLAの研修についてご報告いたします。今回は「共に支え合い、生きる、小さな思いを集めて」というテーマで開催されました。今回の受講生は全部で45名、6名から7名の班に分かれて様々なプログラムに参加いたしました。

1日目はお昼に集合して開講式の後、天理教の施設を見学しました。普段から一

般の方も訪れることができるとはいえ、貴重な体験をさせていただきました。そして1つ目の講義として柔道家の穴井先生のお話をお伺いいたしました。

まず初めに穴井先生がおっしゃったのは、報われない努力はあるけれども、無駄な努力はないということでした。努力が報われなかったとき、どう行動するかで、その努力を無駄にしないことができるということです。

もう一つおっしゃっていたのは、夢と目標は違うということです。明確性があれば夢は目標に変わっていきます。そして、目標と目的もまた違います。穴井先生は天理大学で柔道部の顧問をされていますが、学生に質問を重ねて、目的をよく考えさせるのだそうです。学生に目標は何かと聞きますと、「日本一です」と即答しますが、なぜその目標を掲げるかと聞くとはすぐには答えられないこともあります。後日、「地元を離れて柔道を続けさせてくれる家族に対して親孝行をしたい」といったふうに目的を自覚したと改めて伝えてくれたこともあったそうです。

この講義を通じて、目標を達成することがゴールなのではなく、目的を意識して続けていくことが重要なのだなと思いました。仕事においても、目標として売上や販売台数を掲げておりますけれども、その目標の先にどういった価値を生み出していきたいのかを改めて強く意識するようになりました。

2日目は、朝から奈良公園に移動いたしました。激しい雨のため、予定されていた鹿寄せの見学は中止となりましたが、鹿愛護会様の事務所での活動についてお話をお聞きしました。病気や怪我をしている鹿の治療や、子鹿のケアをなさっている様子を見学させていただきました。

そして、2つ目の講義として聖武天皇と大仏についてのお話をお聞きしました。今回のRYLAのテーマに通じるお話で、聖武天皇が自分の大きな権力で造立されたのではなく、人々が誠意を持って、一本の枝、一握りの土を捧げて、助け合うことによって造られたとお聞きしました。

私もまだ5年目の社会人で、小さな力しか持っておりませんが、受け身で待っているのではなく、自ら関わりを持っていく姿勢を大切にしたいと思いました。

その後、東大寺で大仏を見学いたしました。3つ目の講義はホームレスに関する活動をされているNPO法人のお話でした。小さな思いを抱き、立ち止まらず活動することで、仲間を得て社会貢献につなげていかれた体験をお聞きいたしました。

その後、予定にはございませんでしたが、春日大社の見学もさせていただきました。

最終日の3日目は、班ごとの発表を行いました。同じ内容の講義を受けていたのですが、様々な着眼点があることを知り、視野を広げることができました。

今回、普段は接することのない、様々な参加者と触れ合うことができました。そして、天理教の施設、東大寺、春日大社という異なる宗教の施設を見学させていただきました。今回の研修を通じて、地位や権力がなくとも、どのような姿勢で物事に向き合っていくのが大切であり、そうすることで自らの行動で価値を作り出し、ひいては社会や企業に貢献できるのだということを学びました。

今回、このような経験の機会をいただきましたことに改めて感謝申し上げます。

出席報告	会員 総数	出席 義務 会員数	義務 会員 出席数	義務 会員 欠席数	義務 会員 MU	出席 免除 会員数	免除 会員 出席数	免除 会員 MU	出席率
3月3日	87	57	48	9	3	30	22	0	92.40%
2月17日	87	57	49	8	1	30	19	3	91.13%
2月10日	87	57	48	9	1	30	21	9	90.80%

※食品ロスの削減に努めましょう。(2月7日の弁当残数は3個)

「高田を再び元気に」プロジェクト

— 創立65周年記念 桜植樹事業 —

実施場所：大和高田市 大中公園

実施日時：2026年2月26日～27日
13時より



毎年、多くの人をにっこりさせてくれる高田川畔の桜。大和高田市民の大きな財産であり誇りの一つです。

この桜は市制（昭和23年）を記念して延長2Kmの堤防に桜並木をつくろうと植樹されました。その苗木は市内の町内会が数本ずつを寄贈し合わせて千本を超える数で植樹は市民の手によるものでした。文字どおり高田市民の桜で、それから70年以上親しまれています。この桜の成長に合わせるように、高田も商業、工業ともに大きく発展し奈良県中南和の中心となりました。

しかし、樹齢70年を超え年齢を重ねた桜並木の中には空洞になった幹が痛々しい木があります。さらに、一昨年からは外来種カミキリムシによる被害がひろがっていて樹勢の弱まりに拍車がかかっています。この桜の弱まりと時を同じくして、時代の流れの中で高田市の元気が少し失われつつあり、かつての繁栄が懐かしく思えることもあります。

今回のプロジェクトでは、「高田を再び元気に」との思いを込めて70数年前と同じく今後の高田を照らし見守ってくれる桜を植樹しました。そして桜の成長とともに高田が再び元気になる姿を重ね合わせたいと思います。植樹はロータリーとともに次世代を担うローターアクター、そして今後管理をお願いする高田市職員と共に行いました。今後は自分たちが植えた桜が育つことを毎年楽しみにし、地域愛が膨らんで更に高田市の元気がよみがえることを願っています。

2025-26年度 社会奉仕委員長 西田陽昭



